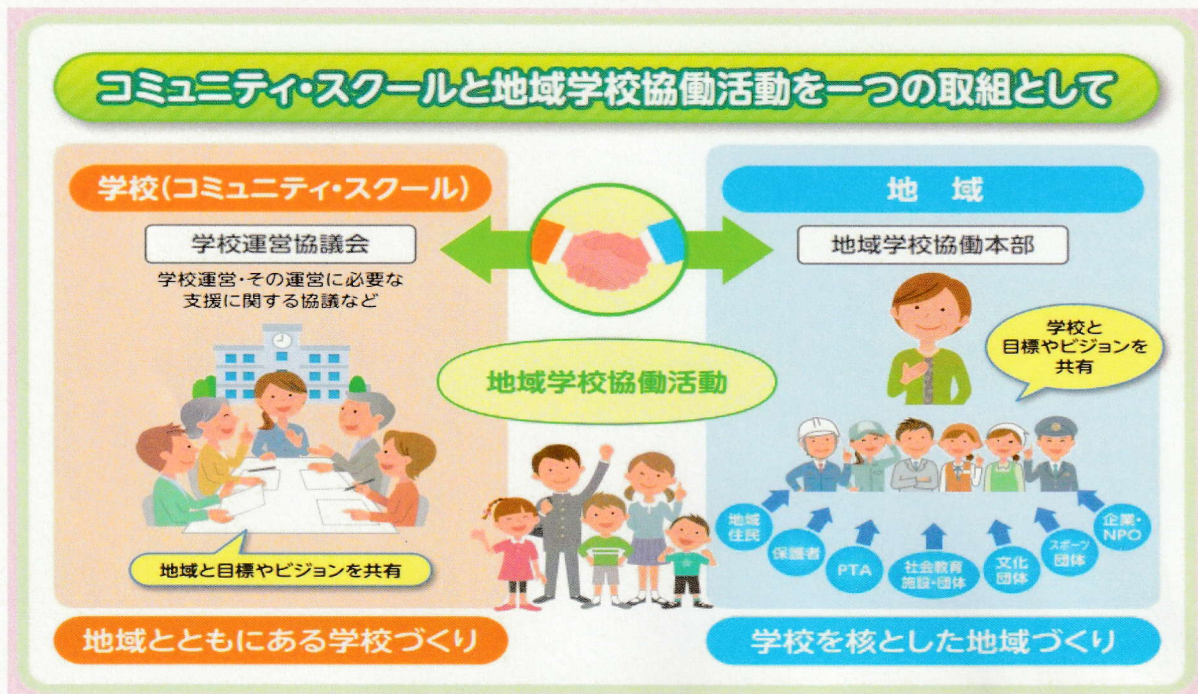


「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」で子どもたちの豊かな成長を支える

有田市教育委員会では、子どもたちの豊かな成長を支えるために、市内の全小・中学校に学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進に取り組んでいます。



(有田市コミュニティ・スクール リーフレットより)

《コミュニティ・スクール》

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

学校運営協議会では、「子どもたちの抱える教育課題への対応」、「保護者や地域住民の参画による多様な活動の実施」、「学校と地域の防災対策、防犯、交通安全の取り組み」、「学校と地域の連携の充実」など、学校運営やそれに必要な支援に関する教育活動などについて話し合い(熟議)を行っています。学校はこの話し合いを反映した学校教育計画(スクールプラン)を作成し、学校運営協議会の承認を受けて学校運営に取り組みます。

地域・保護者の皆さんが学校教育に参加することで、子どもたちの教育活動が少しずつ充実していきます。また、地域・保護者の皆さんと学校の信頼関係がより深まり、「地域とともにある学校づくり」が進んでいきます。

《地域学校協働活動》

地域学校協働活動とは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

学習支援(ふるさと学習、学校行事等の補助)、学習環境の整備(花壇や図書室の整備)、安全防災活動(防災マップの作製、地域との合同避難訓練、登下校の見守り)、放課後や休日の子どもの教室(公民館「ふれあいルーム」)、地域の行事等への子どもの参加など、様々な団体や地域の方々がさまざまな活動に取り組んでいます。これらの活動を通じて地域の皆さんの交流が活発になり、「学校を核とした地域づくり」が進んでいきます。